

1 歴史資料の収集・保存・整理・利用

(1) 古文書

ア 古文書とは

当館が所蔵する古文書の収集・保存は、平成5年(1993)の開館時に和歌山県立図書館等から移管された紀州藩庁文書など約2万5千点に始まる(写真1)。以後、寄贈・寄託を受けたもの、あるいは古書店等から購入したものを含め、今日までに約10万点を収集してきた。

当館で取り扱う古文書とは、和歌山県内の各地域に伝えられた過去の書状や記録等である。地域や県の歩みを将来に伝えるために重要(歴史的に価値がある)と考えられる資料を、作成年代にとらわれず古文書としている。

当館では、古文書を、代々伝えられてきた所蔵者・場所で今後も保存できるよう、所蔵者や市町村へ助言・協力することに取り組んできた。これは、歴史学における「現地保存の原則」又は「現地保存主義」、つまり歴史資料や文化財は、それが作成され伝え



写真1 紀州藩庁文書のうち「紀州家中系譜並に親類書書上げ」(写真は伊達五郎(陸奥宗光の兄)の系譜)

られてきた場所で維持され、活用され続けることを第一義とするとの考え方によっている。加えて当館が県内に所在する全ての古文書を収集・保存することは現実的に困難であり、所蔵者等が今後も保存できるように支援した方が、将来により多くの古文書を残すことができるのではないかとの考えによる。よって、これまで当館は、所蔵者による維持管理ができなくなり、かつ地元市町村でも受入れが困難な古文書について、散逸や県外への流出を防ぐ目的で収集してきた。

令和4年(2022)度末現在、当館が所蔵する古文書は194文書群である(18～20ページ表1。複製収集資料及び複製物作成後に原本を返還した寄託文書を含む)。現在までに収蔵史料目録を13冊刊行し、42文書群の目録を公開してきた。また、古文書を整理する過程で得られた歴史的な知見等について、刊行物や歴史講座等により県民に紹介している。

平成30年度からは、デジタルアーカイブ「和歌山県歴史資料アーカイブ」を開設し、古文書や写真等の画像を目録と併せて公開している(40ページ参照)。

イ 古文書の収集から利用まで

以下、当館における古文書の収集から利用に供するまでの手順を段階ごとに述べる。

(ア) 事前調査

古文書の寄贈又は寄託について相談を受けた時は、まず地元市町村の文化財担当職員とともに所蔵者等を訪問し、保存状況や数量等を調査するとともに、所蔵者等の意思や地元市町村での受入れの可否等について確認・検討する。その上で、当館が収集しなければ廃棄・散逸のおそれがある場合に収集する。

調査の結果は、寄贈・寄託の有無にかかわらず、所蔵者や伝来の経緯、周辺の歴史的背景、保存環境等を可能な限り把握し、古文書調査記録票に記録する。

(イ) 収集（寄贈・寄託）

古文書を収集する際、寄贈・寄託の手続は和歌山県立文書館管理要綱第8条及び第9条の規定により行う（99ページ参照）。寄託の際は、特に文書等寄託契約書第4条で定める利用について了解を得ることに留意する（103ページ参照）。

現行の寄託契約書様式は、当館での閲覧と写真撮影、出版物への写真掲載までを定めたもので、インターネット上での公開とそれともなう二次利用等については規定していない。そのため、寄託文書のインターネット公開を前提とした寄託契約のあり方を検討している。

また、デジタルアーカイブ「和歌山県歴史資料アーカイブ」への掲載を目的として、マイクロフィルム又はデジタルカメラで撮影することで、古文書原本ではなく画像を収集（複製収集）することもある。

(ウ) 保存・管理

当館における保存・管理とは、収集した文書等の原本を、設備が整った収蔵庫で保管することで紛失や盗難、火災から守るとともに、環境を管理して虫菌害を防止し、長期にわたって活用できるよう保全することをいう。また、当館が所蔵する古文書には、必要に応じて専門業者による補修を行うことがある（26ページ参照）。

古文書は、原則として寄贈・寄託した個人・団体（出所）ごとに一つの文書群とし、文書群ごとに保存・管理する。

具体的には以下の業務を行う。

a クリーニング

古文書については、職員が破損・汚損の状態等を把握するとともに、刷毛でほこりを除去するなどのドライクリーニングを施し、虫菌害を防止する。

b 保存容器への収納

保存容器は、原則として収集時の容器（木箱等）や封筒・包紙を使用する（写真2）が、長期的な保存に耐えない場合や、破損・汚損等がある場合には、収集時又は整理時に従来の収納秩序を維持しながら中性紙製の段ボール箱に移し替える。

保存容器には、収納されている古文書（文書群）の名称及び資料番号を明示する。

c 収蔵庫での保管

古文書は、収蔵庫2で文書群ごとに保管する。

収蔵庫1及び2はハロゲン化物消火設備を採用し、文書等の焼失や消火作業による水損を防いでいる。さらに調湿機能を持つ内壁材を用いた二重構造で、内壁と外壁（コンクリート）の間の空気を循環させる間接空調により急激な温湿度変化を防いでいる。庫内は、通年20～28℃、湿度50%前後の状態を保ち、カビの発生・増殖を抑えている。

また、収蔵庫2のみ、殺虫・防虫効果がある薬剤ピレスロイド系殺虫剤D-D-Tシフェノトリンを年1回噴霧し、さらに保存容器に一般家庭用のピレスロイド系防虫剤を入れて虫害



写真2 整理した古文書を木箱に収納したようす

を防止している。

なお、収蔵庫内の照明について、従来は古文書等の紫外線劣化を防ぐため紫外線カットの蛍光灯を使用していたが、令和5年に紫外線の少ないLEDに変更した。

(工) 整理作業

当館における整理とは、古文書を利用に供することができるよう、検索・出納可能な状態にすることであり、文書群ごとに目録を作成している。当館での古文書の整理は、開館から令和4年度までは、主に嘱託研究員（定員4名）によって進められ、同5年度以降は文書専門員3名が担当している。

整理に際し、以下の業務を行う。

a 資料番号の付与

古文書1点ごとに資料番号を付し、保存に適した材質の付せん等で明示する。

資料番号は、「ア-1」「ア-2」等、保存容器ごとに収納されていた状態（秩序）に従って付すことを原則とする。ただし、当館以外の機関・個人等によって整理され、適切な番号が付されている場合は、そのまま使用することもある。

b 目録の作成

古文書目録には、原則として古文書1点ごとに次の各項目を記録するが、文書群の特徴に応じて項目を加除することがある。

なお、虫損等による破損や固着が著しい古文書は無理に展開せず、可能な部分のみを整理・利用の対象とする。

<目録に記録する項目>

- ・出 所 「〇〇家文書」等、文書群の出所にちなんだ名称を付す
- ・分 類 古文書の内容に従って、分類区分を設ける
- ・閲 覧 当該古文書が和歌山県立文書館管理規則第6条「利用に供しない文書等」に該当するか否かを判断する（95 ページ参照）
- ・資料番号 古文書1点ごとに付す
- ・標 題 原則として原題をそのまま記入するが、原題のみでは内容が類推できない場合は（ ）内に補足する
原題がない場合は、内容に従って適当な標題を〔 〕内に記入する
- ・作 成 者 原則として全て記録する
- ・宛 名 原則として全て記録する
- ・年 月 日 作成年月日を古文書記載のとおり元号等も含めて記録する
記載されていないが推定できる場合は（ ）内に記録する
- ・西 暦 作成年の西暦を記録する
- ・容 器 保存容器の番号
- ・形 態 縦帳、横帳、縦紙等、各古文書の形態を記録する
- ・数 量 古文書目録は1点ごとに作成することを原則とするが、必要に応じて「〇点一括」等と記録する
- ・状 態 破損状況・取扱上の注意事項等
- ・備 考 上記以外の特記事項等

c 展開・補修等

館蔵古文書のうち虫損・水損等による破損の程度が甚だしく、当館職員では展開できないものは、必要に応じて専門業者に委託して解体と裏打ち・リーフキャスト^{すきば}ィング（漉^すめ）等の補修を施し、文字が読めるようにする（26 ページ参照）。

d 複製物の作成

当館では、古文書は原則としてマイクロフィルム撮影により複製物を作成し、複製物を閲覧に供する（27 ページ参照）。

(オ) 古文書の利用等

整理が終了した古文書は、以下の方法により一般の利用に供し、またデジタルアーカイブで公開している。

a 目録の閲覧室排架・公開

整理が終了した古文書は、利用者の便宜を図るため目録を閲覧室に排架する。また、収蔵史料目録を発行するなどして、広く認知され、利用されるよう努める。

b 閲覧・複写

破損防止のため、古文書原本は利用に供しないことを原則とし、閲覧や複写は複製物により行う。

c 特別閲覧・写真撮影

館長が必要と認める場合に限り、原本の閲覧や写真撮影を行うことができる。

原本の閲覧等は、原則として特別閲覧室で当館職員の立会いのもとで行い、紛失・混同、破損・汚損を防止する。

d 古文書等の写真掲載・翻刻

出版物等に古文書等を掲載・翻刻する場合は、事前に館長の許可を得る必要がある。

e 館外貸出し

古文書原本の館外貸出しは、社会教育等の公共的目的を持つ展示会等で、忘失や損傷の防止に十分な配慮がなされている場合に行う（貸出期間 60 日以内）。

館外貸出しを希望する者は、事前に館長の許可を得る必要がある。

寄託文書の場合は、申請者が寄託者から書面による了解を得て、許可申請時に提出する必要がある。

f 公開

整理が終了した古文書のうち、インターネット上で公開できるものは、当館のデジタルアーカイブ「和歌山県歴史資料アーカイブ」で順次公開する（40 ページ参照）。

g 普及啓発

古文書を整理する過程で得た県内の歴史に関する知見等は、当館の歴史講座や出版物、ウェブサイト等を通じて発表し、県民の郷土に対する理解と認識を深めるよう、普及啓発に努めている。

表1 当館所蔵の古文書群

(令和5年3月31日現在)

	文書群名	出所地名	受入区分	受入年度	点数	刊行目録
1	紀州家中系譜並に親類書書上げ		移管	平成5年度	15,728	10・11
2	中尾家文書	海南市下津町梅田	移管	平成5年度	638	1
3	岡家文書Ⅰ・Ⅱ	日高川町中津川	移管	平成5年度	1,907	2
4	山裾織布場文書	和歌山市坂田	移管	平成5年度	348	1
5	蜜柑方元縮文書	有田市港町	移管	平成5年度	447	1
6	県立図書館移管資料		移管	平成5年度	1,860	4
7	県史編さん班移管資料		移管	平成5年度	193	4
8	軍学者宇佐美定祐文書(宇佐美家文書) (紀州藩士)		寄託	平成5年度	152	7
9	高橋家文書	和歌山市木ノ本	寄託	平成5年度	4,327	3
10	和歌山縣史七巻	和歌山市	寄贈	平成5年度	1	4
11	平松家文書Ⅰ・Ⅱ	和歌山市	寄託	平成5年度	35	12
12	丹生家文書	かつらぎ町天野	寄託	平成5年度	655	5
13	岩崎家文書	和歌山市紀三井寺	寄託	平成5年度	約8,200	
14	守先文庫	有田川町庄	寄贈	平成5年度	220	
15	長保寺文書	海南市下津町上	寄託	平成5年度	約14,000	
16	福重氏所蔵金檀家文書	かつらぎ町東谷	寄託	平成5年度	6	1
17	堀家文書	紀の川市名手市場	寄託	平成5年度	3,881	9
18	大川浦文書Ⅰ・Ⅱ	和歌山市大川	購入	平成5年度	71	1
19	安楽川村文書Ⅰ	紀の川市桃山町元	購入	平成5年度	193	1
20	堀内家文書(紀州藩士)		寄託→寄贈	平成6年度	23	1
21	山崎家文書	和歌山市大垣内	寄託	平成6年度	104	1
22	北一夫氏旧蔵北家文書	紀の川市荒見	寄贈	平成6年度	4,750	6
23	谷口家文書	和歌山市冬野	寄託	平成6年度	55	1
24	垣内家文書	和歌山市木ノ本	寄託	平成6年度	約150	12
25	貞木家文書	和歌山市木ノ本	寄託→寄贈	平成6年度	68	12
26	高橋哲郎家文書	和歌山市木ノ本	寄託	平成6年度	24	12
27	園部家文書	和歌山市園部	寄託	平成6年度	約1,130	
28	有田郡久野原村文書(二沢家文書)	有田川町久野原	購入	平成6年度	約360	
29	那賀郡各村公証原簿	紀の川市	購入	平成6年度	88	
30	名草郡坂田村文書	和歌山市坂田	購入	平成6年度	19	12
31	那賀郡冷水村文書	海南市ひや水	購入	平成6年度	99	
32	安楽川村文書Ⅱ	紀の川市桃山町元	購入	平成6年度	191	1
33	大須賀家文書	和歌山市北新	寄託	平成7年度	60	12
34	岩橋家文書	海南市黒江	寄託	平成7年度	50	
35	有田郡吉原村文書	有田川町吉原	購入	平成7年度	4	
36	角谷家文書	和歌山市西浜	購入	平成7年度	792	12
37	下津町藤岡家文書	海南市下津町	購入	平成7年度	約200	
38	清水町二沢家文書(昭和・満州関係)	有田川町久野原	購入	平成7年度	約50	
39	渋田郵便局文書	かつらぎ町	購入	平成7年度	29	
40	幸前家文書	和歌山市木ノ本	寄託	平成8年度	1	12
41	道本家文書	紀の川市貴志川町丸栖	寄託	平成8年度	約200	
42	川口家文書	湯浅町湯浅	寄託	平成8年度	約10,000	
43	大畑家文書(紀州藩士)		複製	平成8年度	98	7
44	吉備町野田家文書	有田川町	購入	平成8年度	約200	
45	刑法改定布告		購入	平成9年度	1	
46	市町村制理由		購入	平成9年度	1	
47	名手家文書	海南市黒江	寄託	平成10年度	約2,000	
48	岡本家文書	紀美野町福田	寄託	平成10年度	約4,000	13
49	早川家文書(紀州藩士)		寄託→寄贈	平成10年度	64	7
50	尾崎林太郎家文書	海南市黒江	寄託	平成10年度	726	5
51	尾崎重光家文書	海南市黒江	寄託	平成10年度	2	5
52	那賀郡内文書(八塚家文書)	紀の川市粉河	購入	平成10年度	81	
53	和歌山県同和教育研究協議会資料		寄贈	平成11年度	約1,000	
54	南方熊楠記念館所蔵資料マイクロフィルム		寄託	平成11年度	151	
55	田端家文書	美浜町田井	寄託	平成12年度	約400	
56	尾崎彌太郎家文書	海南市黒江	複製	平成12年度	1	5
57	熊野本宮絵図		購入	平成12年度	1	
58	旧和歌山藩奉職者請願書		購入	平成12年度	1	
59	紀三井寺一心万人講名録		購入	平成12年度	1	
60	熊野本宮御鎮座略記		購入	平成12年度	1	
61	熊野新宮御鎮座記		購入	平成12年度	1	
62	天善鉦山文書	有田川町	寄贈	平成13年度	4	
63	大川浦文書Ⅲ	和歌山市大川	寄託	平成13年度	約180	
64	日高郡下志賀村文書	日高町志賀	購入	平成13年度	約20	
65	野長瀬家文書	田辺市中辺路町近露	寄託	平成14年度	426	

	文書群名	出所地名	受入区分	受入年度	点数	刊行目録
66	中筋家文書	和歌山市禰宜	購入	平成14年度	794	12
67	渥美家文書	鈴鹿市(白子領)	寄託	平成15年度	403	
68	興國寺文書	由良町門前	寄託	平成15年度	約2,000	
69	西松江村文書	和歌山市松江	購入	平成15年度	144	12
70	田中家文書	海南市鳥居	寄託	平成16年度	1,575	
71	中尾家文書Ⅱ	海南市下津町梅田	寄託	平成16年度	145	
72	中村家文書	田辺市下川下	寄託	平成16年度	981	
73	瀬戸家文書	御坊市藤田町藤井	寄託	平成16年度	3,300	8
74	萱野家文書	橋本市清水	寄託	平成16年度	約2,000	
75	西山家文書(紀州藩士)		購入	平成16年度	1	7
76	明治22年版和歌山県管内市町村改定全図		購入	平成17年度	1	
77	賢堂村文書	橋本市賢堂	購入	平成17年度	90	
78	大藪村御検地帳	かつらぎ町大藪	購入	平成17年度	1	
79	妙寺村文書	かつらぎ町妙寺	購入	平成17年度	84	
80	小川家文書(田辺領家臣)		寄贈	平成18年度	336	7
81	橋本家文書Ⅰ	御坊市湯川町	寄託	平成18年度	約2,200	
82	岡本家文書(紀州藩士)		寄贈	平成18年度	1	7
83	真砂家文書	田辺市中辺路町栗栖川	寄託	平成18年度	約600	
84	和歌山県議会図書室移管資料		移管	平成19年度	135	
85	旧高野口町岡本家文書	橋本市高野口町名古曾	寄贈	平成19年度	約300	
86	栗本源次氏旧蔵文書		寄贈	平成20年度	1	
87	由良町旧蔵文書	由良町	寄贈	平成20年度	約1,000	
88	志賀裕春氏旧蔵文書	和歌山市	寄託	平成20年度	28	
89	内畑弘氏旧蔵資料	和歌山市	寄贈	平成20年度	15	
90	美浜町教育委員会旧蔵資料	美浜町	寄贈	平成20年度	約150	
91	和歌の浦景観保全訴訟関係資料	和歌山市	寄贈	平成20年度	約200	
92	紀伊国海士郡加太浦文書	和歌山市加太	購入	平成20年度	60	12
93	紀州藩江戸屋敷奥向日記〔県立博物館所蔵〕		複製	平成20年度	1	
94	紀州藩歴代藩主叙任口宣案・宣旨・位記〔県立博物館所蔵〕		複製	平成20年度	128	
95	岡見家文書〔県立博物館所蔵〕		複製	平成20年度	17	
96	紀州徳川家系譜〔県立博物館所蔵〕		複製	平成20年度	1	
97	芦川家文書〔県立博物館所蔵〕		複製	平成20年度	53	
98	紀州中屋文書〔県立博物館所蔵〕		複製	平成20年度	84	
99	牧笛類草〔県立博物館所蔵〕		複製	平成20年度	8	
100	天明五年道中記〔県立博物館所蔵〕		複製	平成20年度	1	
101	道中日記〔県立博物館所蔵〕		複製	平成20年度	1	
102	古田家文書	御坊市湯川町富安	寄贈	平成21年度	約750	
103	永栄家文書	紀の川市西大井	寄贈	平成21年度	約50	
104	県立図書館所蔵資料		複製	平成20・21年度	187	
105	山本幸次氏旧蔵野上軽便鉄道資料	海南市	寄贈	平成22年度	3	
106	岩崎文彦氏旧蔵資料	広川町広	寄贈	平成22年度	約500	
107	垂井家文書	和歌山市	寄贈	平成22年度	約60	
108	武内家所蔵文書	和歌山市小豆島	寄託	平成22年度	155	
109	紀州東照宮近代文書	和歌山市和歌浦西	複製	平成21・22年度	205	
110	海南市日方鍵村商店資料	海南市日方	寄贈	平成23年度	約200	
111	那賀郡・海部郡・名草郡内資料その他		寄贈	平成23年度	30	
112	紀州東照宮所蔵南紀徳川史	和歌山市和歌浦西	複製	平成22・23年度	147	
113	海南市大野中春日神社文書	海南市大野中	複製	平成23年度	2,095	
114	紀州東照宮文書	和歌山市和歌浦西	寄託	平成24年度	約300	
115	林繁昭氏旧蔵資料(南陽馬車鉄道関係文書)		寄贈	平成24年度	15	
116	林繁昭氏旧蔵資料(和歌山県教育会満鮮支視察旅行報告関連資料)		寄贈	平成24年度	2	
117	林繁昭氏旧蔵資料(田嶋漆店関係文書)	海南市	寄贈	平成24年度	28	
118	和歌山市本脇中村家文書	和歌山市本脇	寄贈	平成24年度	約600	
119	父川家文書	橋本市東家	寄贈	平成24年度	約80	
120	榎家文書	海南市孟子	寄贈	平成24年度	約420	
121	谷井家文書	和歌山市関戸	寄贈	平成24年度	約1,500	
122	孟子区有文書	海南市孟子	寄託	平成25年度	約200	
123	遊佐家文書(紀州藩士)		寄託	平成25年度	約150	
124	川端章子氏寄贈文書	和歌山市元寺町	寄贈	平成25年度	約20	
125	塩崎家文書	日高町津久野	寄託→寄贈	平成25年度	約700	
126	海部郡和歌村役場「蠣海苔及漁業其他必用書類留」	和歌山市和歌浦東	寄託→寄贈	平成25年度	1	
127	瀧井家文書	橋本市清水	寄贈	平成25年度	約630	
128	第3次小野田少尉救出活動参加報告書等	海南市役所	寄贈	平成26年度	7	
129	山本家文書	かつらぎ町高田	寄託→寄贈	平成26年度	約150	
130	山本吉左衛門家知行目録(紀州藩士)		寄託	平成26年度	3	

	文書群名	出所地名	受入区分	受入年度	点数	刊行目録
131	榎家本家文書	海南省孟子	寄託	平成26年度	約100	
132	瑞祥庵文書	那智勝浦町南平野	寄贈	平成26年度	約100	
133	正法寺文書	那智勝浦町坂足	寄贈	平成26年度	約50	
134	初湯川村文書	日高川町初湯川	購入	平成26年度	約50	
135	紀の路御遊覧日記	貝塚御坊	購入	平成26年度	1	
136	紀州和歌浦加吉船難船浦手形	和歌山市	購入	平成26年度	1	
137	宇佐美系譜(紀州藩士)		寄贈	平成27年度	2	
138	ロバート・テキスター関係資料		寄贈	平成27年度	49	
139	中松家文書(田辺領家臣)		寄託	平成27年度	約10	
140	小阪区文書	那智勝浦町小阪	寄託	平成27年度	約430	
141	帯庄酒造・森田家文書	かつらぎ町丁ノ町	寄託	平成27年度	約1,000	
142	紀州牟婁郡新宮領里数在郷神社仏閣旧跡記		購入	平成27年度	1	
143	紀州藩士蘭田家文書		購入	平成27年度	約20	
144	平野氏三船明神御遷宮私記	紀の川市桃山町元	購入	平成27年度	4	
145	那賀銀行・那賀製紙工場設計図	紀の川市名手市場	購入	平成27年度	33	
146	苧原家文書	日高川町松瀬	寄託	平成28年度	約100	
147	北大井村御検地帳及び北大井村字限図	紀の川市北大井	寄託	平成28年度	2	
148	坂口俊夫家文書	由良町網代	寄贈	平成28年度	1	
149	和歌山県宮繕技師増田八郎資料		寄贈	平成28年度	約60	
150	堀田家文書	湯浅町湯浅	寄贈	平成28年度	約1,000	
151	紀州藩士間宮家文書		購入	平成28年度	17	
152	山口御殿番井関喜太夫勤覚		購入	平成28年度	1	
153	御帰国御道中人馬賃銭持出し等払帳		購入	平成28年度	1	
154	有田郡山保田組寺原村諸願留帳	有田川町寺原	購入	平成28年度	1	
155	海士郡吉原組大庄屋文書	和歌山市吉原	購入	平成28年度	1	
156	日高郡蘭荘浜瀬村図	美浜町浜ノ瀬	購入	平成28年度	1	
157	宝暦十三年和歌山城下屋鋪絵図帳		購入	平成28年度	1	
158	新宮領巡見使案内懐中覚		購入	平成28年度	1	
159	名草郡宮組坂田村文化九年御用向留帳	和歌山市坂田	購入	平成28年度	1	
160	福町伍組触留	和歌山市福町	購入	平成28年度	1	
161	紀州藩士姓名帳		購入	平成28年度	4	
162	龍門尋常小学校・川原村高等尋常小学校増築工事設計書	紀の川市	購入	平成28年度	3	
163	日高郡塩屋村役場文書	御坊市塩屋町北塩屋	購入	平成28年度	2	
164	蜜柑方書付		購入	平成28年度	1	
165	小山家文書(旧龍王神社文書)	美浜町三尾	寄託	平成29年度	227	4
166	宮本守中・道夫関係資料	新宮市・古座川町	寄贈	平成29年度	約190	
167	橋本家文書Ⅱ	御坊市湯川町	購入	平成29年度	約10	
168	粉河町天南白水座劇場建築工事図面綴	紀の川市粉河	購入	平成29年度	11	
169	八塚家御通し之写	紀の川市粉河	購入	平成29年度	1	
170	宮内省梨本宮附別当三雲敬一郎家文書		購入	平成29年度	約200	
171	三浦家家臣宮本家文書		寄贈	平成30年度	約100	
172	塩冶家文書(紀州藩士)		寄託	平成30年度	約400	
173	中田区文書	紀美野町中田	寄託	平成30年度	約200	
174	谷井家文書Ⅱ	和歌山市関戸	寄贈	平成30年度	約350	
175	牧スナ旧蔵岡崎邦輔資料		寄贈	平成30年度	約80	
176	栖原角兵衛文書		寄贈	平成30年度	101	
177	巽三郎旧蔵文書		寄贈	令和元年度	約270	
178	中川皎資料	有田川町(旧清水町)	寄贈	令和元年度	32	
179	有田川水害古地図(花園村災害調査図)	かつらぎ町(旧花園村)	寄贈	令和元年度	2	
180	紀州口六郡大庄屋杖突帳書姓名付		購入	令和元年度	1	
181	紀州藩士古屋家文書		購入	令和元年度	約40	
182	渋谷家文書[稻むらの火の館所蔵]	広川町広	複製	令和元年度	23	
183	耐久高校所蔵資料		複製	令和元年度	29	
184	紀州藩在府御供勤方諸定書		購入	令和2年度	1	
185	有田郡山保田組大庄屋堀江家文書	有田川町清水	購入	令和2年度	約100	
186	二沢家文書	有田川町久野原	購入	令和2年度	7	
187	紀州徳川家回向勤覚		購入	令和2年度	1	
188	中根文庫[申本古座高校所蔵]		複製	令和元・2年度	199	
189	宮井家文書	印南町島田	寄贈	令和3年度	13	
190	和歌山高等女学校教諭竹之内喜八郎資料		寄贈	令和4年度	約140	
191	竹中順吉関係資料		寄贈	令和4年度	約40	
192	旧花園村新子小字金剛寺文書	かつらぎ町花園新子	寄贈	令和4年度	約250	
193	郡居雜記		寄贈	令和4年度	1	
194	小山豊旧蔵資料[御坊市教育委員会所蔵]		複製	令和3・4年度	50	

ウ 民間所在資料保存状況調査

民間所在資料保存状況調査（開始時の名称は「地域史料保存調査」）は、当館が平成7年（1995）の阪神・淡路大震災を契機として構想し、同9年度から県内に所在する古文書を対象として実施した所在状況調査である。「どこの誰が、どんな資料を、どんなふうにもっているのか」を確認・記録し、「今所蔵者のもとにある古文書等が今後もそのままであるように取り組んでいく」ことができるよう、市町村と共に所蔵者を支援する体制づくりを図るとともに、万一の災害時にも備えようとする取組であり、当館の古文書関係業務の特徴となっている。

民間所在資料保存状況調査は、平成9年度から同17年度にかけての第1期と、同26年度以降の第2期に分かれる。

(ア) 第1期民間所在資料保存状況調査（平成9年度～同17年度）

a 概要

第1期調査では、各市町村が推薦する郷土史家等に当館の「民間所在資料調査員」を委嘱・依頼して調査を行い、平成の大合併以前の旧50市町村を一巡した平成17年度で終了した。

不存在情報も含めて計953件の所在情報を得ることができたが、所蔵者・市町村と当館が共同で古文書の保存に努めるという体制づくりは実現できなかった。

b 活動内容

第1期調査では、1件でも多くの所在情報を得るために目録作成や写真撮影等は行わず、文書群の所在確認と保管環境の把握等、今後の散逸を防ぐ必要最小限の現状確認を目的として、次の取組を行った。

- ・市町村ごとに調査し、古文書所在の全県的な基本台帳を作成する。
- ・当館と市町村が調査結果を共有し、協力して民間に所在する古文書の保存を行う。
- ・保存上問題がある古文書については、所蔵者に保存のための助言を行う。
- ・地元市町村や所蔵者に古文書保存の重要性や方法について普及啓発する。
- ・調査終了後には市町村が独自で調査を継続できるよう、研修等を通じて担当者の技術向上を図る。

c 調査結果

第1期調査で得られた953件の所在情報のうち、558件については昭和40年代に和歌山県教育委員会が県内全市町村を対象に実施した古文書所在確認調査（以下「県教委調査」という。）の追跡報告であり、残り395件が新たに把握できた文書群である（24ページ表2）。

第1期調査で追跡報告された県教委調査558件のうち、散逸又は行方不明となった文書群が94件（約17%）あった。調査員が訪問したことで初めて古文書の存在を知ったという所蔵者もあり、代替わりや転居に際して廃棄されたり、散逸したものが多いと考えられる。

また、所蔵場所が変更（所蔵者の変更を含む。）された文書群は、全体558件のうち88件（約16%）で、公的機関に変更されたものが多い。

(イ) 第2期民間所在資料保存状況調査（平成26年度～現在）

第2期調査では、当館が、和歌山県立博物館（以下「県博」という。）を主体とする「地域に眠る『災害の記憶』と文化遺産を発掘・共有・継承する事業」（以下「災害の記憶」事業という。）に参加して、調査を行った。

a 大災害の発生

平成23年(2011)には東日本大震災と紀伊半島大水害という大災害が続けて発生した。紀伊半島大水害当時、和歌山県内では指定文化財以外の古文書など（以下「未指定文化財」という。）を救出・保全するべきという考えは一般化していなかった。

しかし、紀伊半島大水害を受けて、県博は次年度特別展のテーマを「災害と文化財—歴史を語る文化財の保全—」とし、展覧会のための調査と位置付け、和歌山大学紀州経済史文化史研究所「和歌山県豪雨被害歴史資料保全対策プロジェクト」及びボランティア団体「歴史資料保全ネット・わかやま」と共に未指定文化財を含む被災資料の救援活動を行った。

平成26年度からは、県博を事務局とする和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会が文化庁補助金を得て「災害の記憶」事業を行った。この事業は、過去の災害に関する記念碑や記録、伝承等を調査・収集し、その内容を地域住民に分かりやすく還元することで、今後の防災に資すること、未指定を含む文化財の所在を把握して、万一の災害後の文化財救援活動等に備えることを目的とした。さらに、調査成果をまとめた小冊子を作製して対象市町村の全戸に配布するとともに現地学習会を開催するなど、古文書等の調査と防災をリンクさせた先駆的な事業であった。また、県内の文化財関係機関・団体が結集する契機となったことも成果の一つである。同事業は令和3年(2021)度をもって終了した。

b 第2期調査の概要

当館では、平成26年度以降は「災害の記憶」事業に参加することで、第1期調査を追跡・補強する第2期民間所在資料保存状況調査を実施した（写真3）。「災害の記憶」事業において、当館は主に古文書の調査を担当し、小冊子の原稿執筆や現地学習会での講演など主要な役割を担ってきた。令和4年度からは当館が主体となって、古文書に記録された災害情報等を地域に還元する取組を継続している。



写真3 第2期調査のようす

第2期調査では、「災害の記憶」事業に参加して所在情報の収集を行ったことで、成果（災害情報）の地域への還元を強く意識することとなった。また、後述する和歌山県博物館施設等災害対策連絡会議の幹事館として、第1期調査で実現できなかった古文書の保存体制づくりにも取り組んでいる。

なお、第2期調査では前回と比較して郷土史家が少なくなったことなどの理由により、民間所在資料調査員を設置せず、当館職員が調査を行っている。

c 和歌山県博物館施設等災害対策連絡会議の結成

2つの大災害を経て、災害時における未指定文化財の救出・保全も文化財行政の一部であるという認識が、県内でも徐々に広まりつつある。

県内の博物館や美術館、市町村教育委員会等が共同で大規模災害に備える連絡組織が構想され、平成27年2月に「和歌山県博物館施設等災害対策連絡会議」（以下「和博連」という。）が発足した。当館は、発足当初から幹事館を務めている。和博連は、平時は文化財災害対策の情報を交換・共有し、災害時には館藏品被害対策の相互協力や未指定文化財を含む被災資料の救出、県外からの資料救援ボランティアの受入体制整備等を行うものである。また、和博連は「災害の記憶」事業とも連動しており、協力して研修会を実施するなどした。

和博連には、県内博物館施設のほか県教育庁文化遺産課や市町村の文化財担当課、私立資料館や歴史資料保全ネット・わかやまも加入しており、公・民協力して未指定文化財を含む文化財全般の災害対策に当たる体制が整備されつつある。

民間所在資料保存状況調査の詳細については、以下を参照のこと。

龍野直樹「地域資料保存事業への思考と試行」（『和歌山県立文書館紀要』第6号、平成13年）

藤 隆宏「民間所在資料保存状況調査結果報告」（『和歌山県立文書館紀要』第12号、平成19年）

同 「平成26年度の民間所在資料保存状況調査について 一御坊市・美浜町・日高川町・那智勝浦町一」（『和歌山県立文書館紀要』第18号、平成28年）

同 「平成27・28年度の民間所在資料保存状況調査について」（『和歌山県立文書館紀要』第20号、平成30年）

同 「平成29・30年度の民間所在資料保存状況調査について」（『和歌山県立文書館紀要』第22号、令和2年）

同 「令和元・2年度の民間所在資料保存状況調査について一湯浅町・広川町一」（『和歌山県立文書館紀要』第24号、令和4年）

表2 第1期民間所在資料保存状況調査（平成9年度～同17年度）による報告件数

郡域	(旧)市町村名	調査年度	第1期調査報告数		うち県教委調査箇所	
			件数	郡計	件数	郡計
海草郡	和歌山市	平成14・15	25	117	9	45
	海南市	平成9～11	28		8	
	下津町		46		25	
	野上町		13		2	
	美里町		5		1	
那賀郡	打田町	平成12・13	21	94	0	21
	粉河町		26		4	
	那賀町		11		2	
	桃山町		18		9	
	貴志川町		16		4	
	岩出町		2		2	
伊都郡	橋本市	平成16・17	23	83	23	52
	かつらぎ町		2		0	
	高野口町		3		3	
	九度山町		19		4	
	高野町		20		6	
	花園村		16		16	
有田郡	有田市	平成16・17	21	111	18	84
	湯浅町		15		10	
	広川町		12		9	
	吉備町		11		4	
	金屋町		31		23	
	清水町		21		20	
日高郡	御坊市	平成14・15	35	289	31	191
	美浜町		11		6	
	日高町		40		40	
	由良町		12		6	
	川辺町		11		11	
	中津村		46		12	
	美山村		11		11	
	龍神村		13		9	
	南部川村		41		12	
	南部町		44		38	
	印南町		25		15	
西牟婁郡	田辺市	平成12・13	16	144	7	96
	白浜町		15		8	
	中辺路町		20		20	
	大塔村		12		6	
	上富田町		37		36	
	日置川町		22		10	
	すさみ町		5		0	
	串本町		17		9	
東牟婁郡	新宮市	平成9～11	19	115	12	69
	那智勝浦町		36		28	
	太地町		10		4	
	古座町		7		6	
	古座川町		24		3	
	熊野川町		2		2	
	本宮町		13		11	
	北山村		4		3	
計			953	953	558	558

補足1 文書等の防虫・防カビ対策

当館では、収集した文書等の虫害・菌害を防止して長期的に保存するために、開館以来、殺虫剤噴霧やドライクリーニング等により対策を行ってきた。また、平成24年(2012)度まではガスくん蒸も併用していた。

(1) ガスくん蒸

開館後平成24年度までは、収集した古文書の虫菌害を防止するとともに、収蔵庫内に虫や菌を持ち込まないように、専門業者に委託してガスくん蒸を行ってきた。

当館には、和歌山県立図書館との共有設備である消毒室備付けのくん蒸器がある。平成7年度までは備付けのくん蒸器と専門業者が保有する移動くん蒸車(トラックの荷台がくん蒸器になっている。)を併用していたが、平成8年度以降は移動くん蒸車のみを用いた。

薬剤は、平成17年度まで主に殺虫と殺菌を同時に行うことができる酸化エチレンと臭化メチルの混合製剤(商品名エキボン)を使用していた。

しかし、臭化メチルがオゾン層破壊物質に指定されて使用できなくなったため、平成18年度から同24年度は酸化エチレン製剤を用いたくん蒸を委託により実施し、以降は行っていない。

(2) 現在の文書等の防虫・防カビ対策

現在、当館では主に収蔵庫の清掃や古文書のドライクリーニング等により収蔵環境を維持し、人体や環境への負荷を抑えながら虫菌害の発生・拡大を防ぐこととしている。

古文書を保管する収蔵庫2は、開館以降、毎年1回(平成6年度から同9年度は2回)、庫内の殺虫・防虫のためピレスロイド系殺虫剤D-D-Tシフェノトリンを噴霧して防虫に努めている(その他、閲覧室や、古文書等を収集後一時的に保管する整理室1、整理作業を行う整理室2にも実施している。)

D-D-Tシフェノトリンは浸透性がなく、容器に収めた古文書に対しては効果がないことから、保存容器内に一般家庭用のピレスロイド系防虫剤を入れ、年1回目視しながら交換することで容器内での虫害を防止している(写真4)。

なお、D-D-Tシフェノトリンには殺菌効果がなく、カビの発生・増殖を防止することができないため、収蔵庫内の相対湿度を60%未満に維持するよう努めることで、カビの発生を抑制している。



写真4 防虫剤の使用例

当館でのくん蒸の詳細については、以下を参照のこと。
龍野直樹「文書館等の資料くん蒸をめぐる諸問題について」(『和歌山県立文書館紀要』第5号、平成12年)

補足2 古文書等の補修

当館では、平成6年(1994)度以降、虫損・水損等により固着して読むことができない紀州藩庁文書の補修を行ってきた。また、酸性劣化が進行した文書については保存のための脱酸処理等を行った。

現在までの補修点数は6,500点余を数える。

(1) 紀州藩庁文書の補修

紀州藩庁文書については、県立図書館が所蔵していた時期にも裏打ちによる補修が行われていたが、虫損による破損・固着のため展開して読むことができないものが多くあった。

紀州藩庁文書の中には『紀州家中系譜並に親類書書上げ』などがあり、紀州藩に関する歴史研究のみならず先祖調べ等、当館で最も利用頻度の高い文書群であるため、専門業者に委託して優先的に補修を行ってきた。

なお、平成16年度までの補修方法は裏打ちであるが、同17年度以降は破損・欠損した部分への紙の繊維を充填するリーフキャスト^{すきば}ィング(漉嵌め)法による補修を行っている(写真5～7)。

古文書の補修例



写真5 虫損により板状に固着した古文書



写真6 固着した古文書を展開するようす
(専門業者が紙片を固定しながら作業している)



写真7 写真5の古文書をリーフキャストィングで補修した例

(写真5～7撮影協力 株式会社工房レストア)

(2) 酸性劣化した文書の補修

明治以降、日本でも製造されるようになった洋紙は、和紙とは異なり、製造過程で添加される酸性物質のために自然に劣化し崩壊する(酸性紙問題)。このため、脱酸処理により劣化の進行を抑えるとともに、すでに劣化が進行したものについてはリーフキャストィング法により補強し、長期間の保存に耐えるようにした。

当館での古文書の補修の詳細については、以下を参照のこと。

藤 隆宏「文書館における古文書の修復について」(『和歌山県立文書館紀要』第7号、平成14年)

補足3 マイクロフィルム撮影等

当館では、和歌山県立文書館管理要綱第3条の規定に基づき、古文書については原則マイクロフィルム撮影をして複製物を作成し、複製物を閲覧利用に供することとしている（98 ページ参照）。

マイクロフィルム撮影については、平成5年(1993)度、同6年度は文書館職員が行い、同7年度以降は専門業者へ委託している（表3）。平成15年度、同16年度は緊急雇用対策事業を活用して撮影を行ったため、大量の撮影を行うことができた。また、令和2年(2020)度以降は、マイクロフィルム撮影とともに、デジタルアーカイブで公開するためにデジタルカメラによる撮影も行っている。

表3 古文書等マイクロフィルム撮影実績

(令和5年3月31日現在)

年度	文書群名	区分	点数	画像数
平成5	岡家文書	館蔵	115	2,977
	宇佐美家文書	寄託	149	1,362
	山裾織布場文書	館蔵	348	3,308
平成6	岡家文書	館蔵	387	3,394
	高橋家文書	寄託	471	10,007
	岩崎家文書	寄託	153	2,268
	大川浦文書	館蔵	47	350
	県立図書館移管資料	館蔵	147	6,059
	平松家文書	寄託	33	143
	堀内家文書	館蔵	12	138
平成7	蜜柑方元縮文書	館蔵	445	1,414
	岡家文書	館蔵	1,306	8,931
	高橋家文書	寄託	371	7,892
	山崎家文書	寄託	105	1,316
	安楽川村文書	館蔵	384	5,620
平成8	その他	館蔵	152	6,867
	堀内家文書	寄託	5	109
	岩橋家文書	寄託	259	637
	北一夫氏旧蔵北家文書	寄託	1,500	12,810
平成9	大畑家文書	寄託	84	4,025
	長保寺文書	寄託	826	64,765
	岡家文書	館蔵	100	296
平成10	高橋家文書	寄託	2,646	6,040
	長保寺文書	寄託	781	61,024
	和歌山県統計書	館蔵	57	15,305
	有田タイムス	館蔵	5	2,012
	園部家文書	寄託	103	16,014
	高橋家文書	寄託	677	8,870
	長保寺文書	寄託	105	5,221
平成11	尾崎家文書	寄託	728	4,145
	県立図書館移管資料	館蔵	375	26,246
平成12	県立図書館移管資料	館蔵	698	64,316
	県史編さん班移管資料	館蔵	152	5,919
	小山家文書(旧龍王神社文書)	寄託	227	1,112
平成13	丹生家文書	寄託	655	5,563
	県立図書館移管資料	館蔵	96	27,567
平成14	県立図書館移管資料	館蔵	798	14,931
	北一夫氏旧蔵北家文書	寄託	135	14,512
	岩崎家文書	寄託	1,742	13,260
平成15	野長瀬家文書	寄託	126	990
	北一夫氏旧蔵北家文書	寄託	142	6,124
	渥美家文書	寄託	403	1,554
	野長瀬家文書	寄託	281	1,851
	紀州家中系譜並に親類書書上げ	館蔵	15,722	149,270
平成16	園部家文書	寄託	448	9,562
	堀家文書	寄託	4,020	57,333
	岡本家文書	寄託	4,364	26,847
	田中家文書	寄託	1,713	16,368
	中尾家文書	寄託	155	458
	中村家文書	寄託	1,354	19,070
川口家文書	寄託	8,040	15,361	

年度	文書群名	区分	点数	画像数
平成17	瀬戸家文書	寄託	1,809	19,007
	長保寺文書	寄託	13	2,473
	宇佐美家文書	寄託	187	1,532
平成18	小川家文書	館蔵	433	2,507
	瀬戸家文書	寄託	1,379	8,397
	岡本家文書	寄託	1	76
	県立図書館移管資料	館蔵	13	2,263
平成19	真砂家文書	寄託	23	3,297
	真砂家文書	寄託	144	3,144
	早川家文書	館蔵	71	1,379
	県立図書館移管資料	館蔵	28	12,106
平成20	志賀裕春氏旧蔵文書	寄託	28	931
	県立博物館所蔵資料	複製	228	2,438
平成21	県立図書館所蔵資料	複製	102	16,478
	県立図書館移管資料	館蔵	85	14,376
平成22	紀州東照宮近代文書	複製	96	15,774
	紀州東照宮近代文書	複製	119	10,583
平成23	紀州東照宮所蔵南紀徳川史	複製	60	4,924
	紀州東照宮所蔵南紀徳川史	複製	87	6,424
	海南市大野中春日神社文書	複製	2,095	6,004
	紀州家中系譜並に親類書書上げ	館蔵	183	2,050
平成24	興国寺文書	寄託	298	886
	垣内家文書	寄託	93	814
	幸前家文書	寄託	1	9
	貞木家文書	館蔵	61	861
	坂田村文書	館蔵	19	1,162
	角谷家文書	館蔵	792	2,755
	中筋家文書	館蔵	794	2,334
	西松江村文書	館蔵	144	855
	加太浦文書	館蔵	60	999
	興国寺文書	寄託	665	5,758
平成25	野長瀬家文書	寄託	19	84
	遊佐家文書	寄託	150	1,871
平成26	長保寺文書(徳義社資料)	寄託	899	20,210
	長保寺文書(徳義社資料)	寄託	221	8,005
平成27	小阪区文書	寄託	430	6,078
	長保寺文書(徳義社資料)	寄託	42	2,615
平成28	長保寺文書(徳義社資料)	寄託	95	9,793
	長保寺文書	寄託	344	12,650
平成29	長保寺文書	寄託	4,544	18,339
	長保寺文書	寄託	4,544	18,339
令和元	長保寺文書	寄託	4,544	18,339
	長保寺文書	寄託	4,544	18,339
	長保寺文書	寄託	4,544	18,339
令和2	長保寺文書	寄託	4,544	18,339
	長保寺文書	寄託	4,544	18,339
令和3	長保寺文書	寄託	4,544	18,339
	長保寺文書	寄託	4,544	18,339
令和4	長保寺文書	寄託	4,544	18,339
	長保寺文書	寄託	4,544	18,339

当館でのマイクロフィルム撮影の詳細については、以下を参照のこと。

龍野直樹「文書館におけるマイクロフィルムの撮影について」(『和歌山県立文書館紀要』第4号、平成10年)

同「文書館におけるマイクロフィルムの撮影について—公文書撮影—」(『和歌山県立文書館紀要』第7号、平成14年)